

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法 人 名	独立行政法人理化学研究所	
案 件 番 号	3	
入 札 及 び 契 約 方 式	一般競争入札	
契 約 の 件 名 及 び 数 量	研究基盤センターにおける微生物モニタリング検査業務 一式	
契 約 締 結 日	平成26年4月1日	
契 約 の 相 手 方 の 商 号 又 は 名 称 等	日本クレア株式会社	
入 札 経 緯 及 び 結 果	公告日 平成26年1月16日 入札締切日 平成26年2月28日 開札日 平成26年2月28日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様の精査を行い、必要最小限の内容に留めている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	4月1日の業務開始日からみて、契約相手先が十分な準備期間を持てるように企図している。
③公告期間の見直し	○	かつては入札期日の前日から起算して休日を含む10日前までとして公告を行っていたが、休日を含まない30営業日前までの公告とし、また、公告日から入札関係書類の提出締め切り日までを20日とし、現在もその運用を継続している。
④公告周知方法の改善	○	所内の掲示に加え、ホームページの更新時に、入札説明書、仕様書等を直接ダウンロードすることを可能にし、現在もその運用を継続している。 また、最新の調達情報をEメールで配信するメールマガジンサービスを行っている。
⑤電子入札システムの導入	×	現在のところ、具体的な導入予定なし。
⑥業者等からの聴き取り	○	仕様書をダウンロードし、かつ、平成25年度に参加した業者に聴き取り調査を行ったところ、検査対象動物について、一部取扱っていない動物があり、今後は取扱う方向で考えている。今回は、仕様書に規定する業務内容を全て満たす役務の提供ができないとの回答があった。(平成26年度は、マウス・ラットに加えマーモセットを追加)
⑦想定できる競争参加者への周知についての取組	○	参加可能な業者は他にもあるのではないかと情報を求めたが、有用な情報は得られなかった。
一者応札・応募等となった要因		
本件の業務内容と同様の微生物モニタリング検査を主として行う業者は少なく、又、その取扱う微生物の検査項目、検査対象動物についても、仕様を満たす業者が少ないと推移される。		
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
一者応札改善の取組は、現在対応可能と考えられる方策は全て実施している。		
契約監視委員会のコメント		
公告期間を休日が含まれない30営業日とするなど、複数者入札に向け適正に取組を行っていることを認める。 しかしながら、複数者による応札も期待できることから、これまで採られてきた一者応札改善に向けての措置を今後とも継続されるよう望む。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) 一者応札改善に向けて、現在対応可能と考えられる措置は全て実施しており、そうした措置を継続する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
平井昭光、江戸川泰路、辻純一郎、清水至、伊藤健二		

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法 人 名	独立行政法人理化学研究所	
案 件 番 号	7	
入 札 及 び 契 約 方 式	一般競争入札(総合評価落札方式)	
契 約 の 件 名 及 び 数 量	大型放射光施設(SPring-8)等広報業務	
契 約 締 結 日	平成26年4月1日	
契 約 の 相 手 方 の 商 号 又 は 名 称 等	スプリングエイトサービス株式会社	
入 札 経 緯 及 び 結 果	公告日 平成26年2月21日 入札締切日 平成26年3月20日 開札日 平成26年3月25日	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様の精査を行い、必要最小限の内容に留めるよう努めている。
②業務等準備期間の十分な確保	×	仕様の検討に時間を要し、結果的に十分な期間が確保できなかった。
③公告期間の見直し	○	かつては入札期日の前日から起算して休日を含む10日前までとして公告を行っていたが、休日を含まない10営業日前までの公告とし、現在もその運用を継続している。
④公告周知方法の改善	○	所内の掲示に加え、ホームページの更新時に、入札説明書、仕様書等を直接ダウンロードすることを可能にし、現在もその運用を継続している。 また、最新の調達情報をEメールで配信するメールマガジンサービスを行っている。
⑤電子入札システムの導入	×	現在のところ、具体的な導入予定なし。
⑥業者等からの聴き取り	○	以前に業者に聴き取りを行ったところ、人員の確保が困難との回答であった。
⑦想定できる競争参加者への周知についての取組	○	参加可能な業者は他にもあるのではないかと情報を求めたが、有用な情報は得られなかった。
一者応札・応募等となった要因		
仕様の検討に時間を要し、十分な業務等準備期間が取れなかった。また、見学対応業務においては、SPring-8およびSACLAに関する知識、英語対応、放射線業務従事者であることが資格要件とされているところ、それを満たす人材を十分に擁する業者が他になかったためと推察される。		
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
競争参加者が十分な準備期間を持てるよう、仕様検討および公告開始時期を前倒しする。		
契約監視委員会のコメント		
放射線業務従業者であることは入札時点で必要な資格要件なのか。入札不参加者に対し応札しなかった理由等を具体的に聴取し、仕様内容の改善につなげることが必要。公告から入札までの期間については、1カ月程度を確保するなど、一者応札改善に向けた取組を行っていることを認める。複数の入札者が得られるよう引き続き努力することとし、説明責任を果たしながら複数年契約を検討してもよいのではないか。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
資格要件については、業務開始までの講習受講を条件とする仕様の変更を行う。また、入札不参加者に対して理由を具体的に確認するなど、引き続き一者応札改善に向けた取組みに努める。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
平井昭光、江戸川泰路、辻純一郎、清水至、伊藤健二		

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法 人 名	独立行政法人理化学研究所	
案 件 番 号	185	
入 札 及 び 契 約 方 式	随意契約(公募)	
契 約 の 件 名 及 び 数 量	NMR構造解析システム運用支援業務	
契 約 締 結 日	平成26年4月1日	
契 約 の 相 手 方 の 商 号 又 は 名 称 等	日本SGI株式会社	
入 札 経 緯 及 び 結 果	公告日 平成26年2月26日 公募締切日 平成26年3月12日	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様の精査を行い、必要最小限の内容に留めている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	4月1日の業務開始予定日から見て、契約予定先以外の業者から参加の意思表示があった場合に、必要な準備期間を確保できるよう考慮した。
③公告期間の見直し	○	公募の開始日から締切りまで、休日を含まない10営業日を確保している。
④公告周知方法の改善	○	所内の掲示に加え、ホームページの更新時に、入札説明書、仕様書等を直接ダウンロードすることを可能にし、現在もその運用を継続している。 また、最新の調達情報をEメールで配信するメールマガジンサービスを行っている。
⑤電子入札システムの導入	×	現在のところ、具体的な導入予定なし。
⑥業者等からの聴き取り	○	随意契約予定先である日本SGI(株)以外に想定できる業者は無く、当該業者からの聴き取りは十分行っている。
⑦想定できる競争参加者への周知についての取組	○	随意契約予定先である日本SGI(株)以外に参加可能な業者の情報を求めるため、随意契約事前確認公募を実施することとした。
一者応札・応募等となった要因		
本件で運用を委託するシステムは日本SGI社製のサーバーが主体であり、オペレーティングシステムについても、同社独自のものに対してチューニングを行う必要があることから、他に委託可能な業者がいなかったためと推察され		
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
一者応札改善の取組は、現在対応可能と考えられる方策は全て実施している。		
契約監視委員会のコメント		
運用委託を行うシステムが日本SGI社製サーバーを主体とすることから、連続しての一者応札となるのもやむを得ない事情がある。しかしながら、仕様書中のコンサルティング内容に関しての具体的な記述がないなど、改善の余地がある。説明責任を果たしながら、複数年契約を検討してもよいのではないかと。また、公募期間の10日間は短い。一ヶ月程度はとるべきである。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
仕様書の記述内容は、今後改善する。 複数年契約に切り替えることについては、外部資金の場合の制約があることを踏まえ、また他の事例も参考としながら、今後の検討課題としていきたい。それまでは、一者応札改善のこうした措置を継続する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
平井昭光、江戸川泰路、辻純一郎、清水至、伊藤健二		

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法 人 名	独立行政法人理化学研究所	
案 件 番 号	244	
入 札 及 び 契 約 方 式	一般競争入札	
契 約 の 件 名 及 び 数 量	和光地区流し等洗浄施設調査・点検業務	
契 約 締 結 日	平成26年9月24日	
契 約 の 相 手 方 の 商 号 又 は 名 称 等	竹田理化工業(株)	
入 札 経 緯 及 び 結 果	公告日 平成26年8月6日 入札締切日 平成26年9月2日 開札日 平成26年9月17日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様の精査を行い、必要最小限の内容に留めている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	9月24日の業務開始日からみて、契約相手先が十分な準備期間を持てるように企図している。
③公告期間の見直し	○	かつては入札期日の前日から起算して休日を含む10日前までとして公告を行っていたが、休日を含まない10営業日前までの公告とし、現在もその運用を継続している。
④公告周知方法の改善	○	所内の掲示に加え、ホームページの更新時に、入札説明書、仕様書等を直接ダウンロードすることを可能にし、現在もその運用を継続している。 また、最新の調達情報をEメールで配信するメールマガジンサービスを行っている。
⑤電子入札システムの導入	×	現在のところ、具体的な導入予定なし。
⑥業者等からの聴き取り	○	仕様書をダウンロードし、かつ、入札不参加であった業者に聴き取り調査を行ったところ、仕様で求めるドラフト系の設置実績、またその点検業務を行える見識がなく、業務内容を満たすことができないとの回答であった。
⑦想定できる競争参加者への周知についての取組	○	参加可能な業者は他にもあるのではないかと情報を求めたが、有用な情報は得られなかった。
一者応札・応募等となった要因		
和光地区流し等洗浄施設調査・点検業務においては、履行確保の必要上、本業務の内容を熟知する業者が近隣になかったためと推察される。		
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
一者応札改善の取組は、現在対応可能と考えられる方策は全て実施している。		
契約監視委員会のコメント		
圧倒的シェアを有しているメーカーの製品に係る点検が大部分であることから、随意契約にして価格交渉を行うか、仕様書を見直して一般競争入札を維持するか、検討を行うべきである。 (法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) 引き続き一般競争入札とするかどうかは、他の事例も参考としながら、今後の検討課題としていきたい。それまでは、参入機会の拡大につながるような仕様書の見直しを行うなど、一者応札改善の努力を継続する。		
平井昭光、江戸川泰路、辻純一郎、清水至、伊藤健二		

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法 人 名	独立行政法人理化学研究所	
案 件 番 号	249	
入 札 及 び 契 約 方 式	一般競争入札	
契 約 の 件 名 及 び 数 量	実験動物開発室 マウスリソース事業における系統維持および生殖工学業務に関する労働者派遣	
契 約 締 結 日	平成26年4月1日	
契 約 の 相 手 方 の 商 号 又 は 名 称 等	(株)サイエンス・サービス	
入 札 経 緯 及 び 結 果	公告日 平成26年2月4日 入札締切日 平成26年2月20日 開札日 平成26年3月4日	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様の精査を行い、必要最小限の内容に留めている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	平成26年4月1日の業務開始日からみて、契約相手先が十分な準備期間を持つことができるよう考慮した。
③公告期間の見直し	○	かつては入札期日の前日から起算して休日を含む10日前までとして公告を行っていたが、休日を含まない10営業日前までの公告とし、現在もその運用を継続している。
④公告周知方法の改善	○	所内の掲示に加え、ホームページの更新時に、入札説明書、仕様書等を直接ダウンロードすることを可能にし、現在もその運用を継続している。 また、最新の調達情報をEメールで配信するメールマガジンサービスを行っている。
⑤電子入札システムの導入	×	現在のところ、具体的な導入予定なし。
⑥業者等からの聴き取り	○	仕様書をダウンロードし、かつ、入札不参加であった業者に聞き取りを行ったところ、要件を満たすスタッフがいないという回答を得た。
⑦想定できる競争参加者への周知についての取組	○	類似する契約を行っている業者に公告内容を知らせる等の取組を行った。
一者応札・応募等となった要因		
本業務においては、実験動物技術者1級の資格を有するもの等が要件とされているが、それを満たす人材を擁する業者が近隣にはなかったのではないかと推察される。		
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
一者応札改善の取組は、現在対応可能と考えられる方策は全て実施している。		
契約監視委員会のコメント		
履行確保の必要上、遺伝検査のためのマウス組織材料採取等の業務内容に対応した実験動物技術者1級であることを含む業務履行体制が要件とされているところ、それを満たす人材を擁する業者が近隣になかったためと推察できることは理解できる。しかしながら、現状困難であるが、本業務の実施者が複数存在するので、引き続き取組を継続されたい。 (法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
次回、公告期間の長期化を図る。それ以外の一者応札改善の取組は、現在対応可能と考えられる方策は全て実施している。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
平井昭光、江戸川泰路、辻純一郎、清水至、伊藤健二		

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法 人 名	独立行政法人理化学研究所	
案 件 番 号	251	
入 札 及 び 契 約 方 式	一般競争入札	
契 約 の 件 名 及 び 数 量	実験動物開発室 マウスリソース事業における系統特性検査および 系統維持業務に関する労働者派遣	
契 約 締 結 日	平成26年10月1日	
契 約 の 相 手 方 の 商 号 又 は 名 称 等	(株)サイエンス・サービス	
入 札 経 緯 及 び 結 果	公告日 平成26年8月8日 入札締切日 平成26年9月3日 開札日 平成26年9月19日	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様の精査を行い、必要最小限の内容に留めている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	平成26年10月1日の業務開始日からみて、契約相手先が十分な準備期間を持つことができるよう考慮した。
③公告期間の見直し	○	かつては入札期日の前日から起算して休日を含む10日前までとして公告を行っていたが、休日を含まない10営業日前までの公告とし、現在もその運用を継続している。
④公告周知方法の改善	○	所内の掲示に加え、ホームページの更新時に、入札説明書、仕様書等を直接ダウンロードすることを可能にし、現在もその運用を継続している。 また、最新の調達情報をEメールで配信するメールマガジンサービスを行っている。
⑤電子入札システムの導入	×	現在のところ、具体的な導入予定なし。
⑥業者等からの聴き取り	○	仕様書をダウンロードし、かつ、入札不参加であった業者に聞き取りを行ったところ、要件を満たすスタッフがいないという回答を得た。
⑦想定できる競争参加者への周知についての取組	○	類似する契約を行っている業者に公告内容を知らせる等の取組を行った。
一者応札・応募等となった要因		
本業務においては、3,000ケージ以上の飼育規模を有する飼育施設での実務経験等が要件とされているが、それを満たす人材を擁する業者が近隣にはなかったのではないかと推察される。		
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
一者応札改善の取組は、現在対応可能と考えられる方策は全て実施している。		
契約監視委員会のコメント		
履行確保の必要上、遺伝検査のためのマウス組織材料採取等の業務内容に対応した実験動物技術者1級であることを含む業務履行体制が要件とされているところ、それを満たす人材を擁する業者が近隣になかったためと推察できることは理解できる。しかしながら、現状困難であるが、本業務の実施者が複数存在するので、引き続き取組を継続されたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
一者応札改善の取組は、現在対応可能と考えられる方策は全て実施している。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
平井昭光、江戸川泰路、辻純一郎、清水至、伊藤健二		

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法 人 名	独立行政法人理化学研究所	
案 件 番 号	252	
入 札 及 び 契 約 方 式	一般競争入札	
契 約 の 件 名 及 び 数 量	実験動物開発室 マウスリソース事業における生殖工学業務(2)に関する労働者派遣	
契 約 締 結 日	平成26年10月1日	
契 約 の 相 手 方 の 商 号 又 は 名 称 等	(株)サイエンス・サービス	
入 札 経 緯 及 び 結 果	公告日 平成26年8月8日 入札締切日 平成26年9月3日 開札日 平成26年9月19日	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様の精査を行い、必要最小限の内容に留めている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	平成26年10月1日の業務開始日からみて、契約相手先が十分な準備期間を持つことができるよう考慮した。
③公告期間の見直し	○	かつては入札期日の前日から起算して休日を含む10日前までとして公告を行っていたが、休日を含まない10営業日前までの公告とし、現在もその運用を継続している。
④公告周知方法の改善	○	所内の掲示に加え、ホームページの更新時に、入札説明書、仕様書等を直接ダウンロードすることを可能にし、現在もその運用を継続している。 また、最新の調達情報をEメールで配信するメールマガジンサービスを行っている。
⑤電子入札システムの導入	×	現在のところ、具体的な導入予定なし。
⑥業者等からの聴き取り	○	仕様書をダウンロードし、かつ、入札不参加であった業者に聞き取りを行ったところ、要件を満たすスタッフがいないという回答を得た。
⑦想定できる競争参加者への周知についての取組	○	類似する契約を行っている業者に公告内容を知らせる等の取組を行った。
一者応札・応募等となった要因		
本業務においては、帝王切開による清浄化操作の実務経験等が要件とされているが、それを満たす人材を擁する業者が近隣にはなかったのではないかと推察される。		
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
一者応札改善の取組は、現在対応可能と考えられる方策は全て実施している。		
契約監視委員会のコメント		
履行確保の必要上、帝王切開による清浄化操作の実務経験等が要件とされているところ、それを満たす人材を擁する業者が近隣になかったためと推察できることは理解できる。しかしながら、現状困難であるが、本業務の実施者が複数存在するので、引き続き取組を継続されたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
一者応札改善の取組は、現在対応可能と考えられる方策は全て実施している。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
平井昭光、江戸川泰路、辻純一郎、清水至、伊藤健二		

一者応札・応募等事案フォローアップ票(理研ホームページにて公表)

法 人 名	国立研究開発法人理化学研究所	
案 件 番 号	271	
入 札 及 び 契 約 方 式	一般競争入札	
契 約 の 件 名 及 び 数 量	ライフサイエンス技術基盤研究センター 研究実験業務労働者派遣	
契 約 締 結 日	平成27年3月31日	
契 約 の 相 手 方 の 商 号 又 は 名 称 等	株式会社テクノプロ	
入 札 経 緯 及 び 結 果	公告日 平成27年2月24日 入札締切日 平成27年3月11日 開札日 平成27年3月19日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様の精査を行い、必要最小限の内容に留めている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	4月1日の業務開始日からみて、契約相手先が十分な準備期間を持てるように企図している。
③公告期間の見直し	○	かつては入札期日の前日から起算して休日を含む10日前までとして公告を行っていたが、休日を含まない10営業日前までの公告とし、現在もその運用を継続している。
④公告周知方法の改善	○	所内の掲示に加え、ホームページの更新時に、入札説明書、仕様書等を直接ダウンロードすることを可能にし、現在もその運用を継続している。 また、最新の調達情報をEメールで配信するメールマガジンサービスを行っている。
⑤電子入札システムの導入	×	現在のところ、具体的な導入予定なし。
⑥業者等からの聴き取り	×	特に実施しなかった。
⑦想定できる競争参加者への周知についての取組	○	以前、本件類似の契約を行った(本件類似案件の入札に参加した)業者に公告内容を知らせた。 インターネットでの調査等で目にとまった本件入札に参加できそうな業者に公告内容を知らせた。 参加可能な業者は他にもあるのではないかと情報を求めたが、有用な情報は得られなかった。
一者応札・応募等となった要因		
当該業務においては、研究の必要上、「PET、MRI実験における動物実験法」と「幹細胞の移植に必要な細胞調整法」の熟知が要件とされているところ、両者を満たす人材を擁する業者が近隣になかったためと推察される。		
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
該当なし		
契約監視委員会のコメント		
派遣会社が人材確保に十分な時間を確保できるようにするため、公告期間の長期化や、指名競争入札等を検討すべきである。参加しなかった業者にもヒアリングし、次回以降の入札の競争性の担保に資するべきである。 (法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
派遣会社が人材確保に十分な時間を確保できるようにすること、入札不参加に対して理由を具体的に確認するなど、引き続き一者応札改善に向けた取組みに努める。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
平井昭光、江戸川泰路、辻純一郎、清水至、伊藤健二		

一者応札・応募等事案フォローアップ票(理研ホームページにて公表)

法 人 名	国立研究開発法人理化学研究所	
案 件 番 号	280	
入 札 及 び 契 約 方 式	一般競争入札	
契 約 の 件 名 及 び 数 量	2015年Annual Reviewシリーズ購読	
契 約 締 結 日	平成26年12月26日	
契 約 の 相 手 方 の 商 号 又 は 名 称 等	株式会社紀伊國屋書店	
入 札 経 緯 及 び 結 果	公告日 平成26年12月11日 入札締切日 平成26年12月22日 開札日 平成26年12月25日	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様の精査を行い、必要最小限の内容に留めている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	平成27年1月1日の業務開始日からみて、契約相手先が十分な準備期間を持てるように企図している。
③公告期間の見直し	○	かつては入札期日の前日から起算して休日を含む10日前までとして公告を行っていたが、休日を含まない10営業日前までの公告とし、現在もその運用を継続している。
④公告周知方法の改善	○	所内の掲示に加え、ホームページの更新時に、入札説明書、仕様書等を直接ダウンロードすることを可能にし、現在もその運用を継続している。 また、最新の調達情報をEメールで配信するメールマガジンサービスを行っている。
⑤電子入札システムの導入	×	現在のところ、具体的な導入予定なし。
⑥業者等からの聴き取り	○	事前の市場調査において同業他社では、対象の書籍の取り扱いが無いとの回答を得ている。
⑦想定できる競争参加者への周知についての取組	○	本件入札に参加できそうな業者に公告内容を知らせた。 参加可能な業者は他にもあるのではないかと情報を求めたが、有用な情報は得られなかった。
一者応札・応募等となった要因		
本件で求めている書籍を取り扱う業者がいなかったためと推察される。		
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
一者応札改善の取組は、現在対応可能と考えられる方策は全て実施している。		
契約監視委員会のコメント		
仕様に応じた対応が可能な業者が、事前に調べて1者のみならば、随意契約もやむを得ないとする。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
一者応札改善の取組は、現在対応可能と考えられる方策は全て実施しているので、こうした措置を継続する。新規参入業者が出る可能性も否定できないことから、今後も入札を継続する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
平井昭光、江戸川泰路、辻純一郎、清水至、伊藤健二		